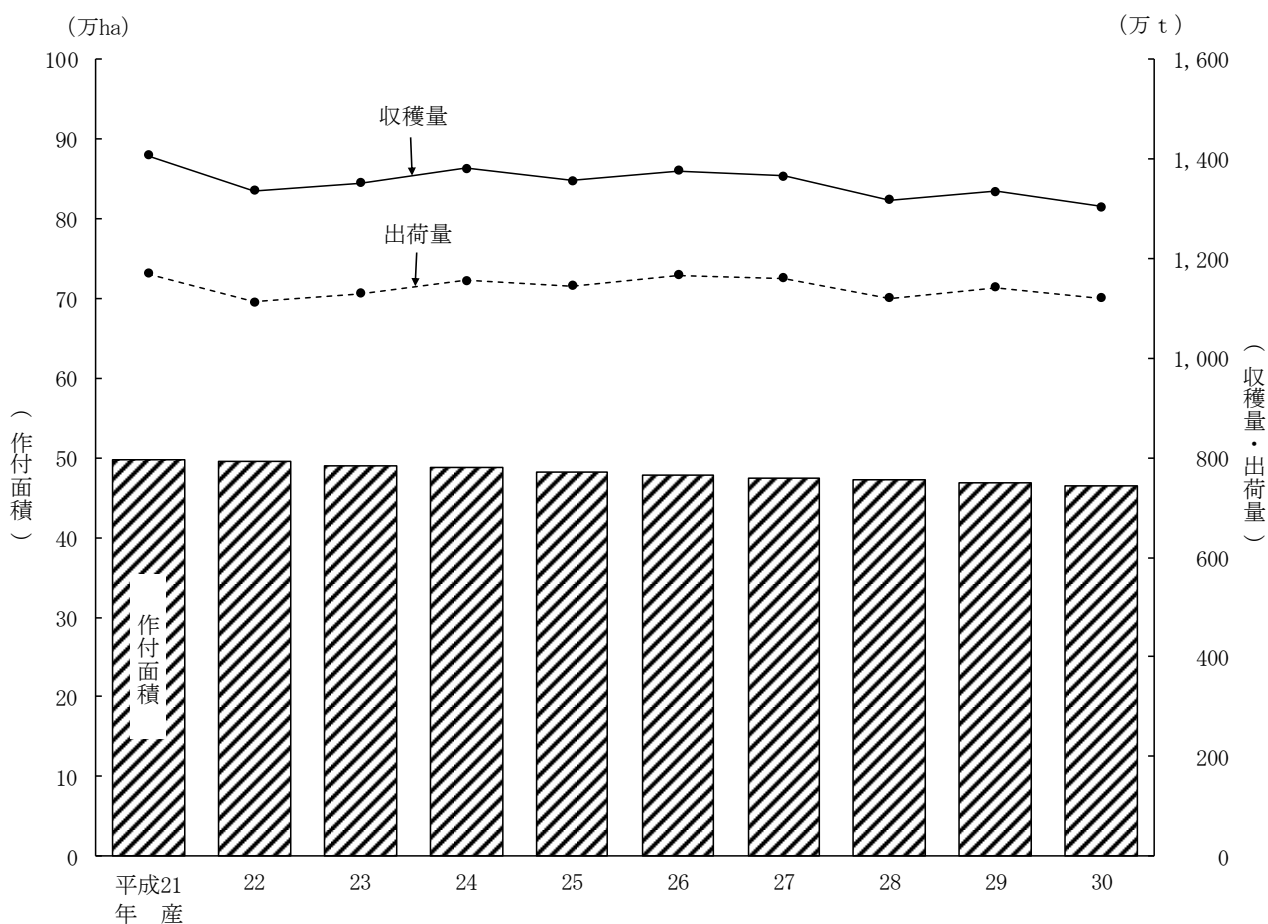


1 平成30年産野菜の作付面積、収穫量及び出荷量の動向

平成30年産の野菜（41品目）の作付面積は46万4,100haで、前年産に比べ4,600ha（1％）減少した。

収穫量は1,303万6,000 t、出荷量は1,119万7,000 t で、前年産に比べそれぞれ30万8,000 t（2％）、22万2,000 t（2％）減少した。

図1 野菜の作付面積、収穫量及び出荷量の推移



注：平成22年産からみずなを調査品目に追加したため、平成21年産以前の作付面積、収穫量及び出荷量の数値にはみずなは含まれていない。

表 1 平成30年産野菜の作付面積、10 a 当たり収量、収穫量及び出荷量（全国）

品 目	作 付 面 積	10 a 当 たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比				(参考) 対平均 収量比
					作付面積	10a当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	
	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
計	464,100	…	13,036,000	11,197,000	99	nc	98	98	nc
根 菜 類	159,800	…	4,778,000	3,989,000	98	nc	97	97	nc
だいこん	31,400	4,230	1,328,000	1,089,000	98	102	100	100	99
かぶ	4,300	2,740	117,700	97,900	97	101	99	99	98
にんじん	17,200	3,340	574,700	512,500	96	100	96	96	101
ごぼう	7,710	1,750	135,300	117,200	97	98	95	95	94
れんこん	4,000	1,530	61,300	51,600	101	99	100	100	102
ばれいしょ (じゃがいも)	76,500	2,950	2,260,000	1,889,000	99	95	94	95	97
さといも	11,500	1,260	144,800	95,300	96	102	97	98	100
やまのいも	7,120	2,210	157,400	134,400	100	99	99	100	100
葉 茎 菜 類	184,300	…	5,342,000	4,713,000	100	nc	100	100	nc
はくさい	17,000	5,230	889,900	734,400	99	102	101	101	102
こまつな	7,250	1,590	115,600	102,500	103	99	103	103	97
キャベツ	34,600	4,240	1,467,000	1,319,000	99	103	103	103	101
ちんげんさい	2,170	1,940	42,000	37,500	99	99	97	99	98
ほうれんそう	20,300	1,120	228,300	194,800	99	101	100	101	93
ふき	538	1,900	10,200	8,560	97	99	95	94	97
みつば	931	1,610	15,000	14,000	97	100	97	97	106
しゅんぎく	1,880	1,490	28,000	22,600	97	99	97	96	97
みずな	2,510	1,720	43,100	39,000	102	101	102	103	101
セルリー	573	5,430	31,100	29,500	99	98	97	96	98
アスパラガス	5,170	513	26,500	23,200	97	104	101	101	102
カリフラワー	1,200	1,640	19,700	16,600	98	101	98	98	96
ブロッコリー	15,400	999	153,800	138,900	103	103	106	107	100
レタス	21,700	2,700	585,600	553,200	100	101	100	102	100
ねぎ	22,400	2,020	452,900	370,300	99	100	99	99	97
にら	2,020	2,900	58,500	52,900	98	100	98	98	101
たまねぎ	26,200	4,410	1,155,000	1,042,000	102	92	94	95	96
んにく	2,470	818	20,200	14,400	102	96	98	99	93
果 菜 類	96,500	…	2,233,000	1,894,000	98	nc	96	96	nc
きゅうり	10,600	5,190	550,000	476,100	98	100	98	99	103
かぼちゃ	15,200	1,050	159,300	125,200	96	83	79	78	85
なす	8,970	3,350	300,400	236,100	98	100	98	98	101
トマト	11,800	6,140	724,200	657,100	98	100	98	98	101
ピーマン	3,220	4,360	140,300	124,500	99	96	95	96	101
スイートコーン	23,100	942	217,600	174,400	102	92	94	94	95
さやいんげん	5,330	702	37,400	24,900	95	99	94	94	101
さやえんどう	2,910	674	19,600	12,500	95	95	90	91	103
グリーンピース	760	782	5,940	4,680	98	94	93	92	103
そらまめ	1,810	801	14,500	10,100	95	98	94	94	97
えだまめ	12,800	498	63,800	48,700	99	95	94	94	95
香 辛 野 菜									
しょうが	1,750	2,660	46,600	36,400	98	98	96	96	97
果 実 的 野 菜	21,800	…	635,300	563,800	98	nc	98	98	nc
いちご	5,200	3,110	161,800	148,600	98	100	99	99	106
メロン	6,630	2,310	152,900	138,700	98	101	99	99	103
すいか	9,970	3,220	320,600	276,500	98	99	97	97	99

注：「（参考）対平均収量比」とは、10 a 当たり平均収量（原則として直近7か年のうち、最高及び最低を除いた5か年の平均値）に対する当年産の10 a 当たり収量の比率である。

2 指定野菜の品目別の概要

(1) だいこん

ア 作付面積

作付面積は3万1,400haで、前年産に比べ600ha（2％）減少した。

イ 10a 当たり収量

10a 当たり収量は4,230kgで、前年産に比べ90kg（2％）上回った。

ウ 収穫量

収穫量は132万8,000tで、前年産並みとなった。

エ 出荷量

出荷量は108万9,000tで、前年産並みとなった。

オ 季節区分別の概況

(ア) 春だいこん

作付面積は4,450haで、前年産に比べ80ha（2％）減少した。

10a 当たり収量は4,730kgで、前年産に比べ120kg（2％）下回った。

収穫量は21万400t、出荷量は19万1,700tで、前年産に比べそれぞれ9,300t（4％）、8,500t（4％）減少した。

(イ) 夏だいこん

作付面積は5,990haで、前年産に比べ280ha（4％）減少した。これは、北海道において、スイートコーン、豆類へ転換されたためである。

10a 当たり収量は4,010kgで、前年産に比べ140kg（3％）下回った。

収穫量は24万200t、出荷量は21万8,900tで、前年産に比べそれぞれ2万200t（8％）、1万8,900t（8％）減少した。

(ウ) 秋冬だいこん

作付面積は2万1,000haで、前年産に比べ200ha（1％）減少した。

10a 当たり収量は4,180kgで、前年産に比べ190kg（5％）上回った。これは、おおむね天候に恵まれ生育が良好であったためである。

収穫量は87万6,900t、出荷量は67万8,300tで、前年産に比べそれぞれ3万1,900t（4％）、2万8,900t（4％）増加した。

図2 だいこんの作付面積、収穫量及び出荷量の推移

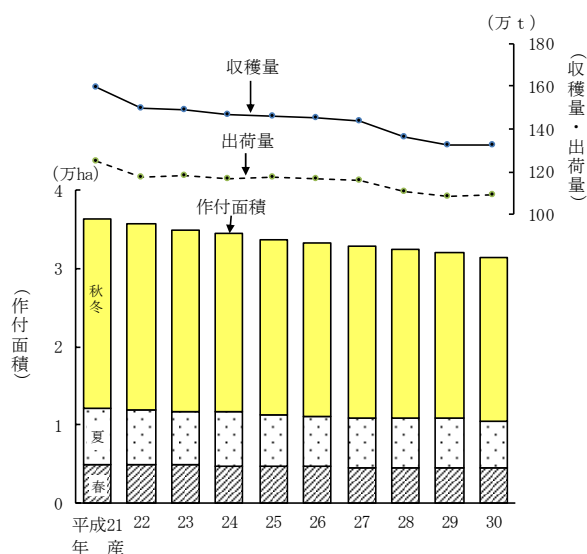


表2 平成30年産だいこんの作付面積、収穫量及び出荷量（全国）

品 目	作 付 面 積	10 a 当 たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比				(参考) 対平均 収量比
					作付面積	10a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	
だい こん	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
	31,400	4,230	1,328,000	1,089,000	98	102	100	100	99
春	4,450	4,730	210,400	191,700	98	98	96	96	99
夏	5,990	4,010	240,200	218,900	96	97	92	92	103
秋 冬	21,000	4,180	876,900	678,300	99	105	104	104	97

(2) にんじん

ア 作付面積

作付面積は1万7,200haで、前年産に比べ700ha（4％）減少した。

イ 10a 当たり収量

10a 当たり収量は3,340kgで、前年産並みとなった。

ウ 収穫量

収穫量は57万4,700tで、前年産に比べ2万1,800t（4％）減少した。

エ 出荷量

出荷量は51万2,500tで、前年産に比べ2万1,200t（4％）減少した。

オ 季節区分別の概況

(ア) 春夏にんじん

作付面積は4,190haで、前年産に比べ100ha（2％）減少した。

10a 当たり収量は3,710kgで、前年産に比べ160kg（4％）下回った。

収穫量は15万5,500t、出荷量は14万2,900tで前年産に比べそれぞれ1万400t（6％）、1万800t（7％）減少した。

(イ) 秋にんじん

作付面積は5,410haで、前年産に比べ430ha（7％）減少した。これは、北海道において、小麦、豆類へ転換されたためである。

10a 当たり収量は3,300kgで、前年産に比べ240kg（7％）下回った。これは、北海道において、6月中旬以降の低温・日照不足により肥大が抑制されたためである。

収穫量は17万8,500t、出荷量は16万1,400tで、前年産に比べそれぞれ2万8,100t（14％）、2万6,000t（14％）減少した。

(ウ) 冬にんじん

作付面積は7,630haで、前年産に比べ170ha（2％）減少した。

10a 当たり収量は3,160kgで、前年産に比べ290kg（10％）上回った。これは、台風等により作柄の悪かった前年産に比べ、おおむね天候に恵まれ生育が良好であったためである。

収穫量は24万1,000t、出荷量は20万8,200tで、前年産に比べそれぞれ1万7,000t（8％）、1万5,600t（8％）増加した。

図3 にんじんの作付面積、収穫量及び出荷量の推移

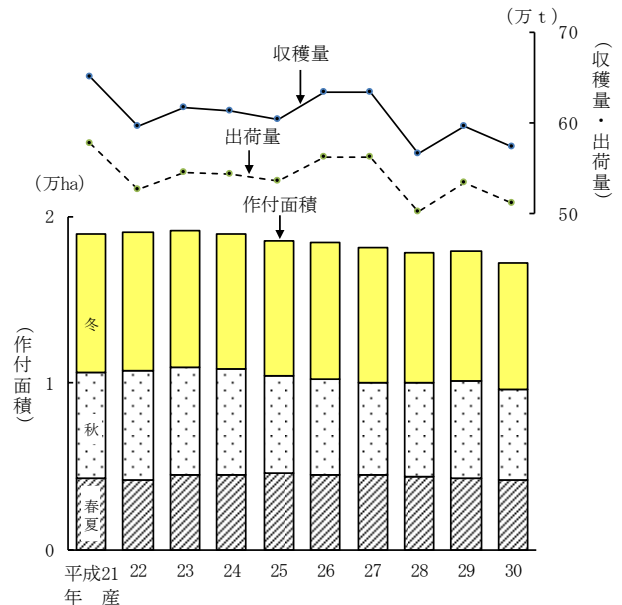


表3 平成30年産にんじんの作付面積、収穫量及び出荷量（全国）

品 目	作 付 面 積	10 a 当 たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比				(参考) 対平均 収量比
					作 付 面 積	10 a 当 たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	
に ん じ ん	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
に ん じ ん	17,200	3,340	574,700	512,500	96	100	96	96	101
春 夏	4,190	3,710	155,500	142,900	98	96	94	93	99
秋	5,410	3,300	178,500	161,400	93	93	86	86	102
冬	7,630	3,160	241,000	208,200	98	110	108	108	101

(3) ばれいしょ（じゃがいも）

ア 作付面積

作付面積は7万6,500haで、前年産に比べ700ha（1％）減少した。

イ 10a 当たり収量

10a 当たり収量は2,950kgで、前年産に比べ150kg（5％）下回った。

ウ 収穫量

収穫量は226万tで、前年産に比べ13万5,000t（6％）減少した。

エ 出荷量

出荷量は188万9,000tで、前年産に比べ10万7,000t（5％）減少した。

オ 季節区分別の概況

(ア) 春植えばれいしょ

作付面積は7万4,000haで、前年産に比べ500ha（1％）減少した。

10a 当たり収量は2,990kgで、前年産に比べ170kg（5％）下回った。これは、作付けの多い北海道において、6月以降の天候不順により、着いも数が少なく、小玉傾向となったためである。

収穫量は221万5,000t、出荷量は185万5,000tで、前年産に比べそれぞれ14万t（6％）、11万1,000t（6％）減少した。

(イ) 秋植えばれいしょ

作付面積は2,510haで、前年産に比べ130ha（5％）減少した。これは、長崎県において、他野菜への転換やほ場整備のため作付休止があったこと等による。

10a 当たり収量は1,820kgで、前年産に比べ300kg（20％）上回った。これは、天候に恵まれ肥大が良好であったこと等による。

収穫量は4万5,600t、出荷量は3万4,700tで、前年産に比べそれぞれ5,500t（14％）、4,600t（15％）増加した。

図4 ばれいしょの作付面積、収穫量及び出荷量の推移

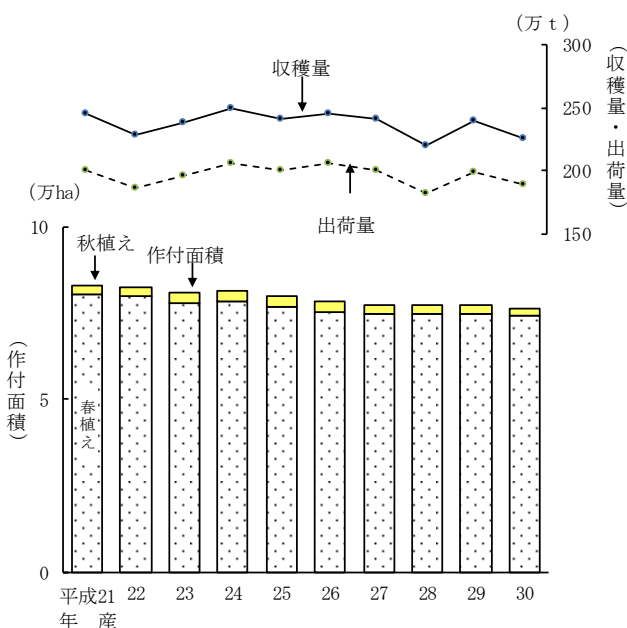


表4 平成30年産ばれいしょの作付面積、収穫量及び出荷量（全国）

品 目	作付面積	10a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比				(参考) 対平均 収量比
					作付面積	10a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	
ばれいしょ	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
ばれいしょ	76,500	2,950	2,260,000	1,889,000	99	95	94	95	97
春植え	74,000	2,990	2,215,000	1,855,000	99	95	94	94	96
秋植え	2,510	1,820	45,600	34,700	95	120	114	115	113

(4) さといも

ア 作付面積

作付面積は1万1,500haで、前年産に比べ500ha（4％）減少した。

イ 10a 当たり収量

10a 当たり収量は1,260kgで、前年産に比べ20kg（2％）上回った。

ウ 収穫量

収穫量は14万4,800tで、前年産に比べ3,800t（3％）減少した。

エ 出荷量

出荷量は9万5,300tで、前年産に比べ1,700t（2％）減少した。

オ 季節区分別の概況

秋冬さといも

作付面積は1万1,500haで、前年産に比べ400ha（3％）減少した。これは、生産者の高齢化による作付中止や規模縮小等があったためである。

10a 当たり収量は1,260kgで、前年産に比べ10kg（1％）上回った。

収穫量は14万4,700t、出荷量は9万5,300tで、前年産に比べそれぞれ3,800t（3％）、1,600t（2％）減少した。

図5 さといもの作付面積、収穫量及び出荷量の推移

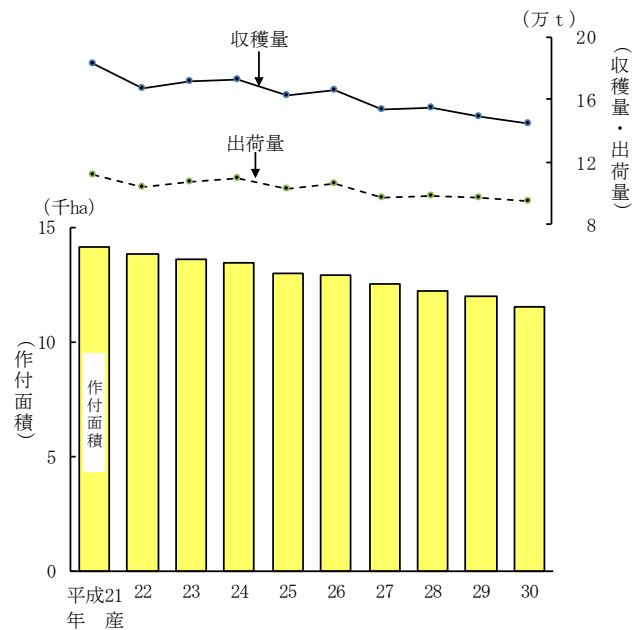


表5 平成30年産さといもの作付面積、収穫量及び出荷量（全国）

品 目	作付面積	10a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比				(参考) 対平均 収量比
					作付面積	10a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	
	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
さといも	11,500	1,260	144,800	95,300	96	102	97	98	100
うち秋冬	11,500	1,260	144,700	95,300	97	101	97	98	100

(5) はくさい

ア 作付面積

作付面積は1万7,000haで、前年産に比べ200ha（1％）減少した。

イ 10a 当たり収量

10a 当たり収量は5,230kgで、前年産に比べ110kg（2％）上回った。

ウ 収穫量

収穫量は88万9,900tで、前年産に比べ9,000t（1％）増加した。

エ 出荷量

出荷量は73万4,400tで、前年産に比べ7,600t（1％）増加した。

オ 季節区分別の概況

(ア) 春はくさい

作付面積は1,840haで、前年産に比べ10ha（1％）減少した。

10a 当たり収量は6,310kgで、前年産に比べ100kg（2％）下回った。

収穫量は11万6,100t、出荷量は10万6,900tで、前年産に比べそれぞれ2,400t（2％）、2,100t（2％）減少した。

(イ) 夏はくさい

作付面積は2,420haで、前年産に比べ40ha（2％）減少した。

10a 当たり収量は7,400kgで、前年産に比べ100kg（1％）下回った。

収穫量は17万9,200t、出荷量は16万2,700tで、前年産に比べそれぞれ5,300t（3％）、4,500t（3％）減少した。

(ウ) 秋冬はくさい

作付面積は1万2,700haで、前年産に比べ200ha（2％）減少した。

10a 当たり収量は4,680kgで、前年産に比べ200kg（4％）上回った。

収穫量は59万4,800t、出荷量は46万4,800tで、前年産に比べそれぞれ1万6,900t（3％）、1万4,100t（3％）増加した。

図6 はくさいの作付面積、収穫量及び出荷量の推移

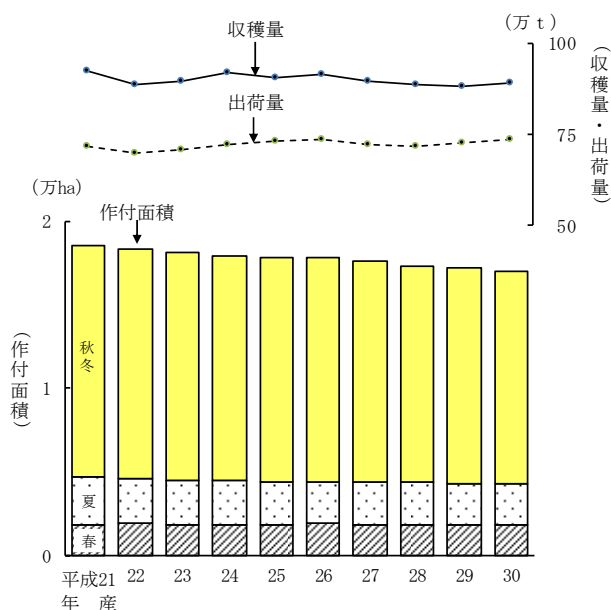


表6 平成30年産はくさいの作付面積、収穫量及び出荷量（全国）

品 目	作 付 面 積	10 a 当 たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比				(参考) 対平均 収量比
					作 付 面 積	10 a 当 たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	
は く さ い	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
春	17,000	5,230	889,900	734,400	99	102	101	101	102
夏	1,840	6,310	116,100	106,900	99	98	98	98	104
秋 冬	2,420	7,400	179,200	162,700	98	99	97	97	103
	12,700	4,680	594,800	464,800	98	104	103	103	102

(6) キャベツ

ア 作付面積

作付面積は3万4,600haで、前年産に比べ200ha（1％）減少した。

イ 10a 当たり収量

10a 当たり収量は4,240kgで、前年産に比べ140kg（3％）上回った。

ウ 収穫量

収穫量は146万7,000tで、前年産に比べ3万9,000t（3％）増加した。

エ 出荷量

出荷量は131万9,000tで、前年産に比べ3万9,000t（3％）増加した。

オ 季節区分別の概況

(ア) 春キャベツ

作付面積は9,040haで、前年産並みとなった。

10a 当たり収量は4,170kgで、前年産並みとなった。

収穫量は37万6,800t、出荷量は34万600tで、前年産に比べそれぞれ2,500t（1％）、2,000t（1％）減少した。

(イ) 夏秋キャベツ

作付面積は1万200haで、前年産に比べ100ha（1％）減少した。

10a 当たり収量は4,900kgで、前年産に比べ120kg（3％）上回った。

収穫量は49万9,500t、出荷量は44万7,900tで、前年産に比べそれぞれ7,100t（1％）、7,700t（2％）増加した。

(ウ) 冬キャベツ

作付面積は1万5,400haで、前年産並みとなった。

10a 当たり収量は3,830kgで、前年産に比べ220kg（6％）上回った。これは、おおむね天候に恵まれ生育が良好であったためである。

収穫量は59万100t、出荷量は53万100tで、前年産に比べそれぞれ3万4,300t（6％）、3万2,800t（7％）増加した。

図7 キャベツの作付面積、収穫量及び出荷量の推移

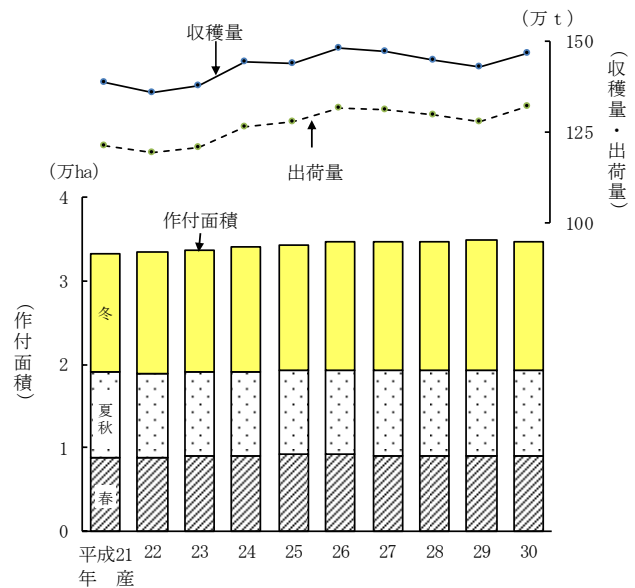


表7 平成30年産キャベツの作付面積、収穫量及び出荷量（全国）

品 目	作付面積	10a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比				(参考) 対平均 収量比
					作付面積	10a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	
キ ャ ベ ツ	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
	34,600	4,240	1,467,000	1,319,000	99	103	103	103	101
春	9,040	4,170	376,800	340,600	100	100	99	99	101
夏 秋	10,200	4,900	499,500	447,900	99	103	101	102	106
冬	15,400	3,830	590,100	530,100	100	106	106	107	97

(7) ほうれんそう

作付面積は2万300haで、前年産に比べ200ha（1％）減少した。

10a当たり収量は1,120kgで、前年産に比べ10kg（1％）上回った。

収穫量は22万8,300tで、前年産並みとなった。

出荷量は19万4,800tで、前年産に比べ1,500t（1％）増加した。

図8 ほうれんそうの作付面積、収穫量及び出荷量の推移

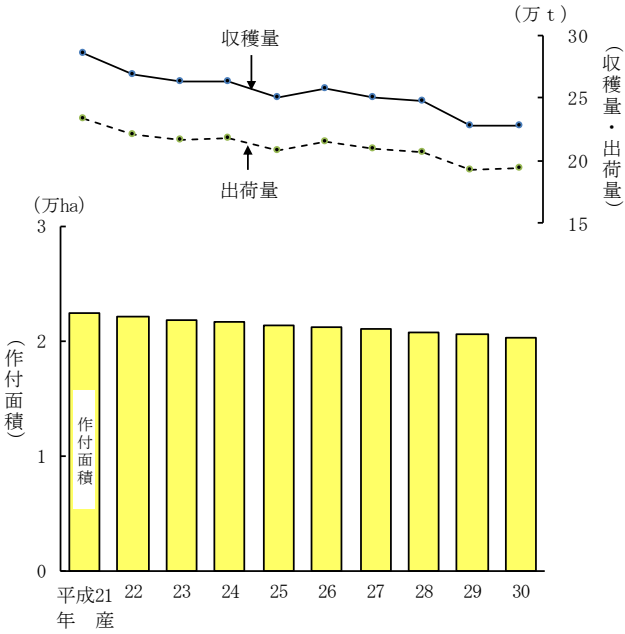


表8 平成30年産ほうれんそうの作付面積、収穫量及び出荷量（全国）

品 目	作 付 面 積	10 a 当 たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比				(参考) 対平均 収量比
					作付面積	10a当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	
ほうれんそう	ha 20,300	kg 1,120	t 228,300	t 194,800	% 99	% 101	% 100	% 101	% 93

(8) レタス

ア 作付面積

作付面積は2万1,700haで、前年産並みとなった。

イ 10a 当たり収量

10a 当たり収量は2,700kgで、前年産に比べ20kg（1％）上回った。

ウ 収穫量

収穫量は58万5,600tで、前年産並みとなった。

エ 出荷量

出荷量は55万3,200tで、前年産に比べ1万900t（2％）増加した。

オ 季節区分別の概況

(ア) 春レタス

作付面積は4,390haで、前年産に比べ90ha（2％）減少した。

10a 当たり収量は2,750kgで、前年産並みとなった。

収穫量は12万700t、出荷量は11万3,400tで、前年産に比べそれぞれ2,500t（2％）、2,300t（2％）減少した。

(イ) 夏秋レタス

作付面積は9,260haで、前年産並みとなった。

10a 当たり収量は3,010kgで、前年産に比べ160kg（5％）下回った。これは、長野県において、7月以降の高温・少雨の影響により、肥大不良となったためである。

収穫量は27万8,500t、出荷量は26万7,200tで、前年産に比べそれぞれ1万6,000t（5％）、6,500t（2％）減少した。

(ウ) 冬レタス

作付面積は8,030haで、前年産に比べ40ha（1％）増加した。

10a 当たり収量は2,320kgで、前年産に比べ250kg（12％）上回った。これは、台風等により作柄の悪かった前年産に比べ、おおむね天候に恵まれ生育が良好であったためである。

収穫量は18万6,300t、出荷量は17万2,700tで、前年産に比べそれぞれ2万800t（13％）、1万9,900t（13％）増加した。

図9 レタスの作付面積、収穫量及び出荷量の推移

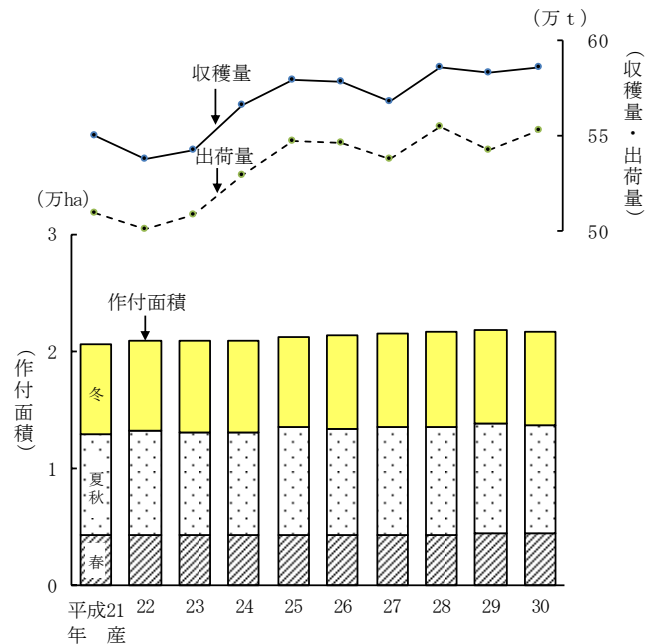


表9 平成30年産レタスの作付面積、収穫量及び出荷量（全国）

品 目	作 付 面 積	10 a 当 たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比				(参考) 対平均 収量比
					作 付 面 積	10 a 当 たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	
レ タ ス	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
春	21,700	2,700	585,600	553,200	100	101	100	102	100
夏 秋	4,390	2,750	120,700	113,400	98	100	98	98	104
冬	9,260	3,010	278,500	267,200	100	95	95	98	98
	8,030	2,320	186,300	172,700	101	112	113	113	101

(9) ね ぎ

ア 作付面積

作付面積は2万2,400haで、前年産に比べ200ha（1％）減少した。

イ 10a 当たり収量

10a 当たり収量は2,020kgで、前年産並みとなった。

ウ 収穫量

収穫量は45万2,900tで、前年産に比べ5,900t（1％）減少した。

エ 出荷量

出荷量は37万300tで、前年産に比べ4,100t（1％）減少した。

オ 季節区分別の概況

(ア) 春ねぎ

作付面積は3,430haで、前年産に比べ30ha（1％）減少した。

10a 当たり収量は2,260kgで、前年産に比べ120kg（5％）下回った。これは、千葉県において、低温の影響により、生育が抑制されたためである。

収穫量は7万7,500t、出荷量は6万8,700tで、前年産に比べそれぞれ4,900t（6％）、4,200t（6％）減少した。

(イ) 夏ねぎ

作付面積は4,920haで、前年産に比べ80ha（2％）減少した。

10a 当たり収量は1,750kgで、前年産に比べ80kg（4％）下回った。

収穫量は8万6,200t、出荷量は7万6,600tで、前年産に比べそれぞれ5,300t（6％）、4,700t（6％）減少した。

(ウ) 秋冬ねぎ

作付面積は1万4,000haで、前年産に比べ100ha（1％）減少した。

10a 当たり収量は2,070kgで、前年産に比べ50kg（2％）上回った。

収穫量は28万9,300t、出荷量は22万5,100tで、前年産に比べそれぞれ4,400t（2％）、4,900t（2％）増加した。

図10 ねぎの作付面積、収穫量及び出荷量の推移

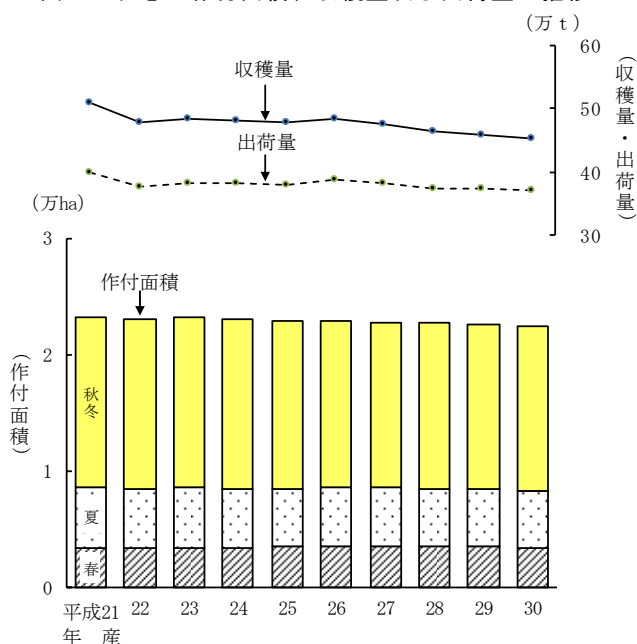


表10 平成30年産ねぎの作付面積、収穫量及び出荷量（全国）

品 目	作付面積	10a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比				(参考) 対平均 収量比
					作付面積	10a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	
ね ぎ	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
	22,400	2,020	452,900	370,300	99	100	99	99	97
春	3,430	2,260	77,500	68,700	99	95	94	94	93
夏	4,920	1,750	86,200	76,600	98	96	94	94	97
秋 冬	14,000	2,070	289,300	225,100	99	102	102	102	99

(10) たまねぎ

作付面積は2万6,200haで、前年産に比べ600ha（2％）増加した。

10a当たり収量は4,410kgで、前年産に比べ390kg（8％）下回った。これは、北海道において、7月中旬以降の高温・少雨により倒伏が早まり、球肥大が進まなかったことによる。

収穫量は115万5,000tで、前年産に比べ7万3,000t（6％）減少した。

出荷量は104万2,000tで、前年産に比べ5万7,000t（5％）減少した。

図11 たまねぎの作付面積、収穫量及び出荷量の推移

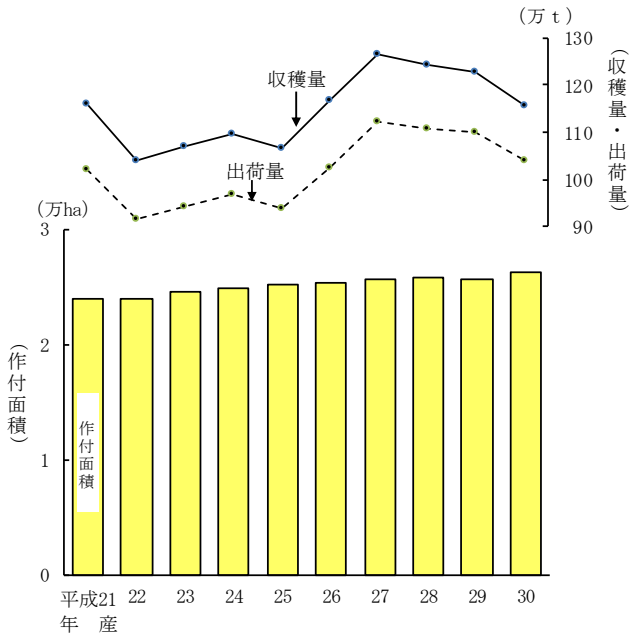


表11 平成30年産たまねぎの作付面積、収穫量及び出荷量（全国）

品 目	作付面積	10 a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比				(参考) 対平均 収量比
					作付面積	10 a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	
	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
た ま ね ぎ	26,200	4,410	1,155,000	1,042,000	102	92	94	95	96

(11) きゅうり

ア 作付面積

作付面積は1万600haで、前年産に比べ200ha（2％）減少した。

イ 10a 当たり収量

10a 当たり収量は5,190kgで、前年産並みとなった。

ウ 収穫量

収穫量は55万tで、前年産に比べ9,500t（2％）減少した。

エ 出荷量

出荷量は47万6,100tで、前年産に比べ7,100t（1％）減少した。

オ 季節区分別の概況

(ア) 冬春きゅうり

作付面積は2,760haで、前年産に比べ70ha（2％）減少した。

10a 当たり収量は1万800kgで、前年産並みとなった。

収穫量は29万8,100t、出荷量は28万500tで、前年産に比べそれぞれ6,700t（2％）、6,000t（2％）減少した。

(イ) 夏秋きゅうり

作付面積は7,810haで、前年産に比べ130ha（2％）減少した。

10a 当たり収量は3,220kgで、前年産並みとなった。

収穫量は25万1,800t、出荷量は19万5,600tで、前年産に比べそれぞれ3,000t（1％）、1,100t（1％）減少した。

図12 きゅうりの作付面積、収穫量及び出荷量の推移

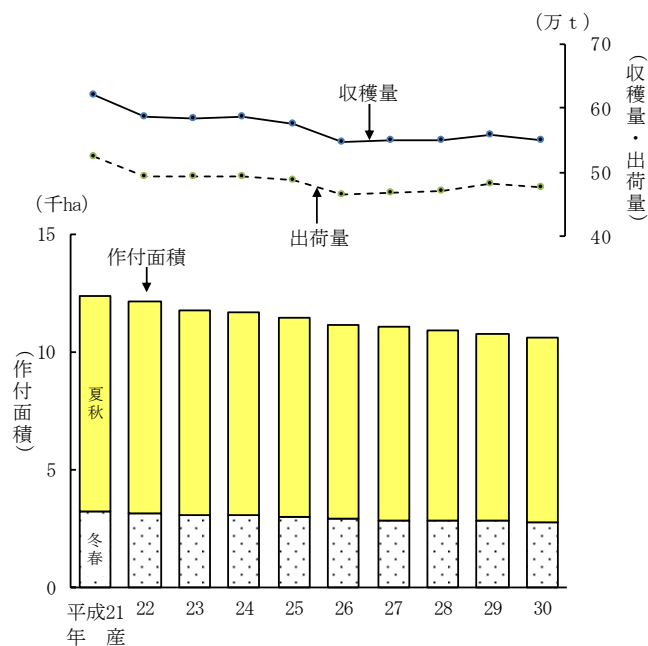


表12 平成30年産きゅうりの作付面積、収穫量及び出荷量（全国）

品 目	作 付 面 積	10 a 当 たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比				(参考) 対平均 収量比
					作 付 面 積	10 a 当 たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	
き ゅ う り	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
冬 春	10,600	5,190	550,000	476,100	98	100	98	99	103
夏 秋	2,760	10,800	298,100	280,500	98	100	98	98	107
	7,810	3,220	251,800	195,600	98	100	99	99	101

(12) なす

ア 作付面積

作付面積は8,970haで、前年産に比べ190ha（2％）減少した。

イ 10a 当たり収量

10a 当たり収量は3,350kgで、前年産並みとなった。

ウ 収穫量

収穫量は30万400 t で、前年産に比べ7,400 t （2％）減少した。

エ 出荷量

出荷量は23万6,100 t で、前年産に比べ5,300 t （2％）減少した。

オ 季節区分別の概況

(ア) 冬春なす

作付面積は1,080haで、前年産並みとなった。

10a 当たり収量は1万800kgで、前年産に比べ200kg（2％）下回った。

収穫量は11万6,900 t、出荷量は11万300 t で、前年産に比べそれぞれ2,300 t（2％）、2,100 t（2％）減少した。

(イ) 夏秋なす

作付面積は7,890haで、前年産に比べ190ha（2％）減少した。

10a 当たり収量は2,330kgで、前年産並みとなった。

収穫量は18万3,500 t、出荷量は12万5,800 t で、前年産に比べそれぞれ5,100 t（3％）、3,200 t（2％）減少した。

図13 なすの作付面積、収穫量及び出荷量の推移

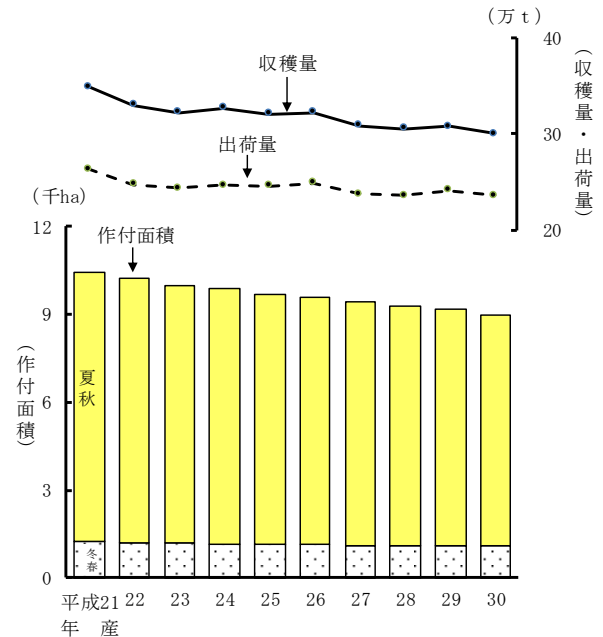


表13 平成30年産なすの作付面積、収穫量及び出荷量（全国）

品 目	作付面積	10a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比				(参考) 対平均 収量比
					作付面積	10a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	
な す	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
冬 春	8,970	3,350	300,400	236,100	98	100	98	98	101
夏 秋	1,080	10,800	116,900	110,300	100	98	98	98	104
	7,890	2,330	183,500	125,800	98	100	97	98	99

(13) トマト

ア 作付面積

作付面積は1万1,800haで、前年産に比べ200ha（2％）減少した。

イ 10a 当たり収量

10a 当たり収量は6,140kgで、前年産並みとなった。

ウ 収穫量

収穫量は72万4,200tで、前年産に比べ1万3,000t（2％）減少した。

エ 出荷量

出荷量は65万7,100tで、前年産に比べ1万700t（2％）減少した。

オ 季節区分別の概況

(ア) 冬春トマト

作付面積は3,970haで、前年産に比べ60ha（1％）減少した。

10a 当たり収量は1万300kgで、前年産に比べ320kg（3％）上回った。

収穫量は40万9,600t、出荷量は38万8,800tで、前年産に比べそれぞれ7,300t（2％）、7,100t（2％）増加した。

(イ) 夏秋トマト

作付面積は7,810haで、前年産に比べ170ha（2％）減少した。

10a 当たり収量は4,030kgで、前年産に比べ170kg（4％）減少した。

収穫量は31万4,600t、出荷量は26万8,300tで、前年産に比べそれぞれ2万300t（6％）、1万7,800t（6％）減少した。

図14 トマトの作付面積、収穫量及び出荷量の推移

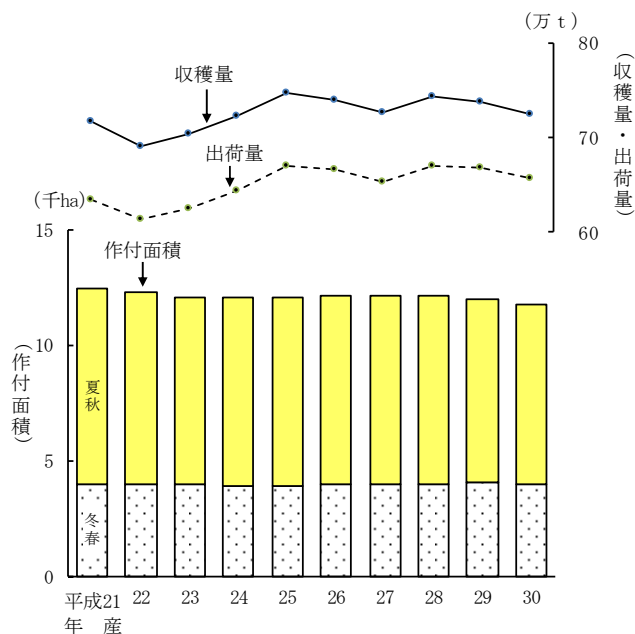


表14 平成30年産トマトの作付面積、収穫量及び出荷量（全国）

品 目	作付面積	10a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比				(参考) 対平均 収量比
					作付面積	10a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	
	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
ト マ ト	11,800	6,140	724,200	657,100	98	100	98	98	101
冬 春	3,970	10,300	409,600	388,800	99	103	102	102	105
夏 秋	7,810	4,030	314,600	268,300	98	96	94	94	95

(14) ピーマン

ア 作付面積

作付面積は3,220haで、前年産に比べ30ha（1％）減少した。

イ 10a 当たり収量

10a 当たり収量は4,360kgで、前年産に比べ160kg（4％）下回った。

ウ 収穫量

収穫量は14万300tで、前年産に比べ6,700t（5％）減少した。

エ 出荷量

出荷量は12万4,500tで、前年産に比べ5,300t（4％）減少した。

オ 季節区分別の概況

(ア) 冬春ピーマン

作付面積は741haで、前年産並みとなった。

10a 当たり収量は1万200kgで、前年産に比べ400kg（4％）下回った。

収穫量は7万5,900t、出荷量は7万1,900tで、前年産に比べそれぞれ2,200t（3％）、2,000t（3％）減少した。

(イ) 夏秋ピーマン

作付面積は2,480haで、前年産に比べ30ha（1％）減少した。

10a 当たり収量は2,600kgで、前年産に比べ150kg（5％）下回った。これは、夏場の高温・少雨の影響により生育が抑制されたことによる。

収穫量は6万4,400t、出荷量は5万2,600tで、前年産に比べそれぞれ4,500t（7％）、3,300t（6％）減少した。

図15 ピーマンの作付面積、収穫量及び出荷量の推移

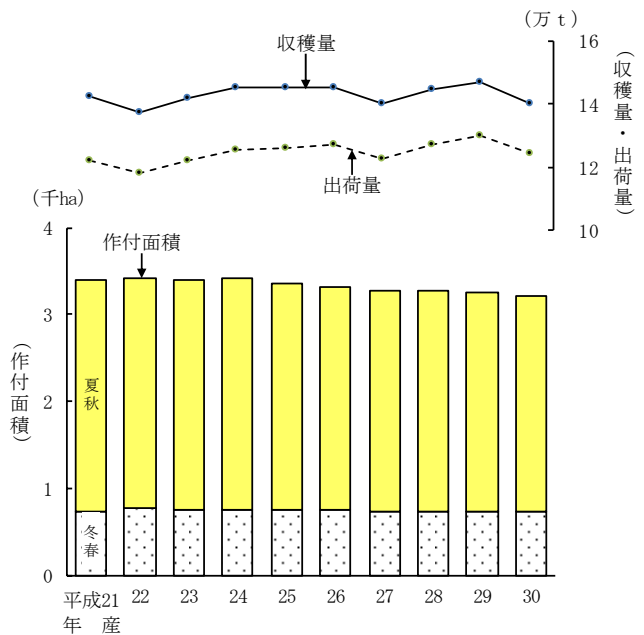


表15 平成30年産ピーマンの作付面積、収穫量及び出荷量（全国）

品 目	作付面積	10a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比				(参考) 対平均 収量比
					作付面積	10a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	
ピーマン	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
冬 春	3,220	4,360	140,300	124,500	99	96	95	96	101
夏 秋	741	10,200	75,900	71,900	100	96	97	97	100
	2,480	2,600	64,400	52,600	99	95	93	94	98

3 指定野菜に準ずる野菜の品目別の概要

(1) 根菜類

ア かぶ

作付面積は4,300haで、前年産に比べ120ha（3％）減少した。

これは、生産者の高齢化により作付中止や規模縮小等があったためである。

10a当たり収量は2,740kgで、前年産に比べ40kg（1％）上回った。

収穫量は11万7,700t、出荷量は9万7,900tで、前年産に比べそれぞれ1,600t（1％）、900t（1％）減少した。

図16 かぶの作付面積、収穫量及び出荷量の推移

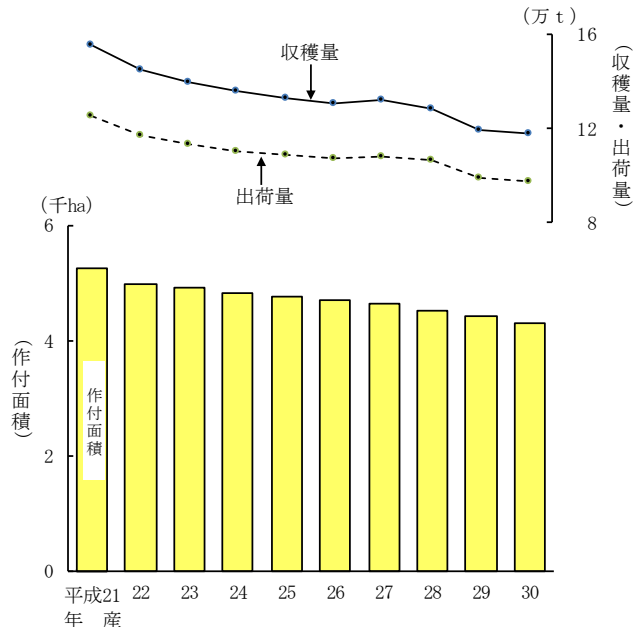


表16 平成30年産かぶの作付面積、収穫量及び出荷量（全国）

品 目	作付面積	10a当たり収	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比				(参考) 対平均 収量比
					作付面積	10a当たり収	収 穫 量	出 荷 量	
	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
かぶ	4,300	2,740	117,700	97,900	97	101	99	99	98

イ ごぼう

作付面積は7,710haで、前年産に比べ240ha（3％）減少した。

これは、生産者の高齢化により作付中止や規模縮小等があったためである。

10a当たり収量は1,750kgで、前年産に比べ40kg（2％）下回った。

収穫量は13万5,300t、出荷量は11万7,200tで、前年産に比べそれぞれ6,800t（5％）、5,600t（5％）減少した。

図17 ごぼうの作付面積、収穫量及び出荷量の推移

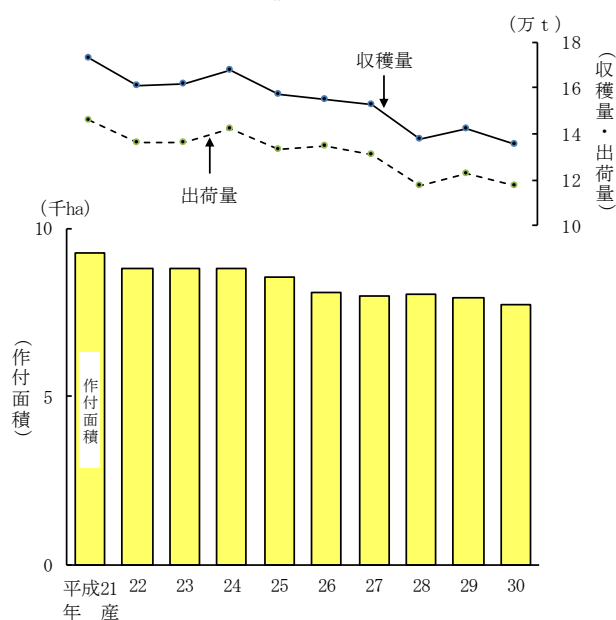


表17 平成30年産ごぼうの作付面積、収穫量及び出荷量（全国）

品 目	作付面積	10a当たり収	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比				(参考) 対平均 収量比
					作付面積	10a当たり収	収 穫 量	出 荷 量	
	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
ごぼう	7,710	1,750	135,300	117,200	97	98	95	95	94

ウ れんこん

作付面積は4,000haで、前年産に比べ30ha（1％）増加した。

10a当たり収量は1,530kgで、前年産に比べ20kg（1％）下回った。

収穫量は6万1,300t、出荷量は5万1,600tで、それぞれ前年産並みであった。

図18 れんこんの作付面積、収穫量及び出荷量の推移

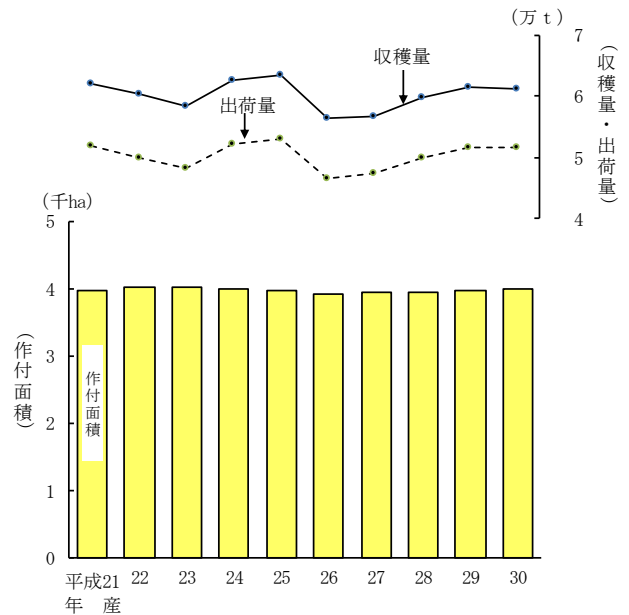


表18 平成30年産れんこんの作付面積、収穫量及び出荷量（全国）

品 目	作付面積	10a当たり収	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比				(参考) 対平均 収量比
					作付面積	10a当たり収	収 穫 量	出 荷 量	
	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
れんこん	4,000	1,530	61,300	51,600	101	99	100	100	102

エ やまのいも

作付面積は7,120haで、前年産並みとなった。

10a当たり収量は2,210kgで、前年産に比べ20kg（1％）下回った。

収穫量は15万7,400tで前年産に比べ1,900t（1％）減少し、出荷量は13万4,400tで、前年産並みであった。

図19 やまのいもの作付面積、収穫量及び出荷量の推移

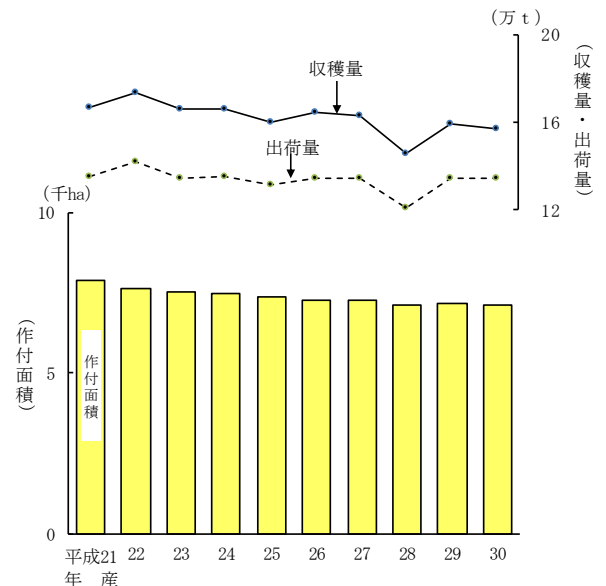


表19 平成30年産やまのいもの作付面積、収穫量及び出荷量（全国）

品 目	作付面積	10a当たり収	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比				(参考) 対平均 収量比
					作付面積	10a当たり収	収 穫 量	出 荷 量	
	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
やまのいも	7,120	2,210	157,400	134,400	100	99	99	100	100

(2) 葉茎菜類

ア こまつな

作付面積は7,250haで、前年産に比べ240ha（3％）増加した。

これは、茨城県、福岡県等において、他野菜からの転換があったためである。

10a当たり収量は1,590kgで、前年産に比べ10kg（1％）下回った。

収穫量は11万5,600t、出荷量は10万2,500tで、前年産に比べそれぞれ3,500t（3％）、3,300t（3％）増加した。

図20 こまつなの作付面積、収穫量及び出荷量の推移

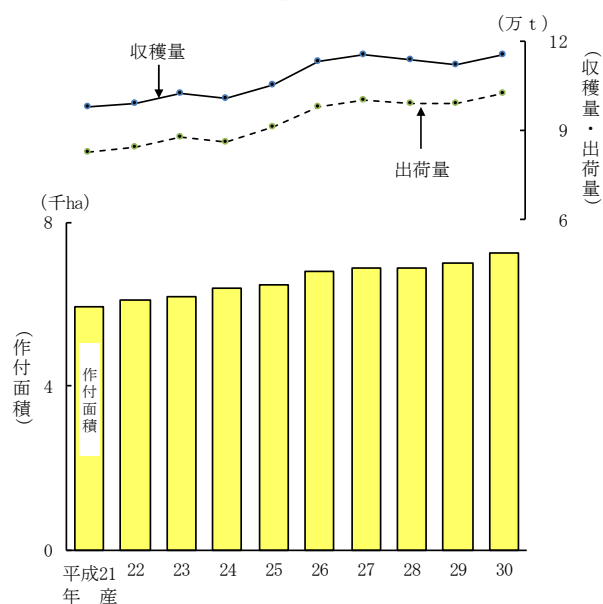


表20 平成30年産こまつなの作付面積、収穫量及び出荷量（全国）

品 目	作付面積	10a当たり収	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比				(参考) 対平均 収量比
					作付面積	10a当たり収	収 穫 量	出 荷 量	
	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
こまつな	7,250	1,590	115,600	102,500	103	99	103	103	97

イ ちんげんさい

作付面積は2,170haで、前年産に比べ30ha（1％）減少した。

10a当たり収量は1,940kgで、前年産に比べ20kg（1％）下回った。

収穫量は4万2,000t、出荷量は3万7,500tで、前年産に比べそれぞれ1,100t（3％）、500t（1％）減少した。

図21 ちんげんさいの作付面積、収穫量及び出荷量の推移

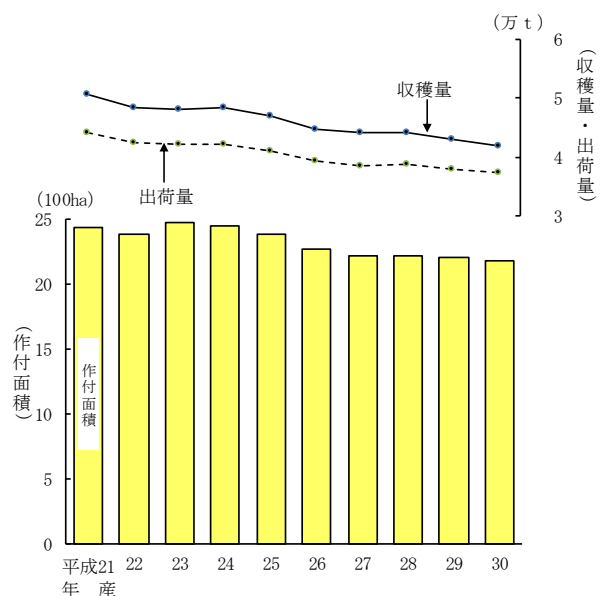


表21 平成30年産ちんげんさいの作付面積、収穫量及び出荷量（全国）

品 目	作付面積	10a当たり収	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比				(参考) 対平均 収量比
					作付面積	10a当たり収	収 穫 量	出 荷 量	
	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
ちんげんさい	2,170	1,940	42,000	37,500	99	99	97	99	98

ウ ふき

作付面積は538haで、前年産に比べ19ha（3％）減少した。

これは、生産者の高齢化により作付中止や規模縮小があったためである。

10 a 当たり収量は1,900kgで、前年産に比べ20kg（1％）下回った。

収穫量は1万200 t、出荷量は8,560 tで、前年産に比べそれぞれ500 t（5％）、570 t（6％）減少した。

図22 ふきの作付面積、収穫量及び出荷量の推移

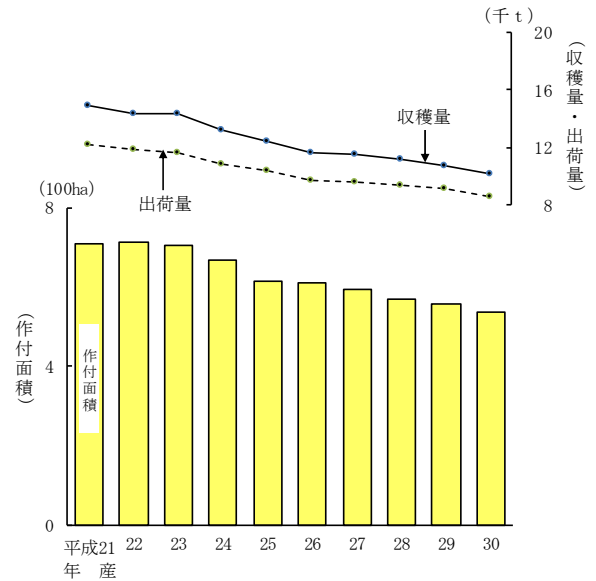


表22 平成30年産ふきの作付面積、収穫量及び出荷量（全国）

品 目	作付面積	10 a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比				(参考) 対平均 収量比
					作付面積	10 a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	
	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
ふき	538	1,900	10,200	8,560	97	99	95	94	97

エ みつば

作付面積は931haで、前年産に比べ26ha（3％）減少した。

これは、生産者の高齢化により作付中止や規模縮小があったためである。

10 a 当たり収量は1,610kgで、前年産並みであった。

収穫量は1万5,000 t、出荷量は1万4,000 tで、前年産に比べそれぞれ400 t（3％）減少した。

図23 みつばの作付面積、収穫量及び出荷量の推移

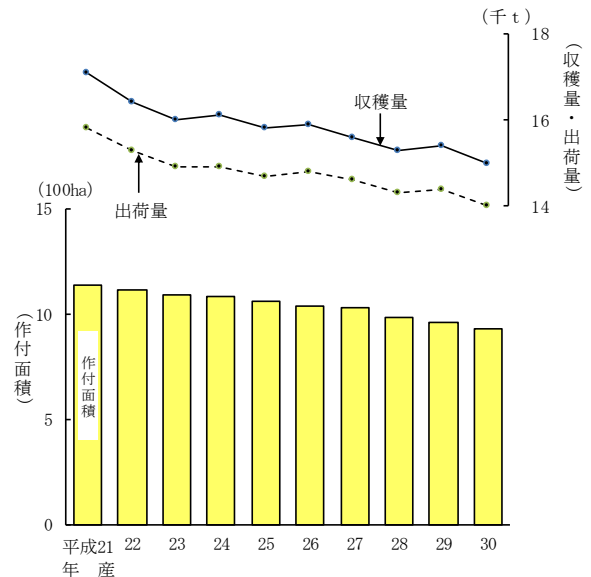


表23 平成30年産みつばの作付面積、収穫量及び出荷量（全国）

品 目	作付面積	10 a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比				(参考) 対平均 収量比
					作付面積	10 a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	
	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
みつば	931	1,610	15,000	14,000	97	100	97	97	106

オ しゅんぎく

作付面積は1,880haで、前年産に比べ50ha（3％）減少となった。

これは、生産者の高齢化により作付中止や規模縮小があったためである。

10a当たり収量は1,490kgで、前年産に比べ10kg（1％）下回った。

収穫量は2万8,000t、出荷量は2万2,600tで、前年産に比べそれぞれ1,000t（3％）、900t（4％）減少した。

図24 しゅんぎくの作付面積、収穫量及び出荷量の推移

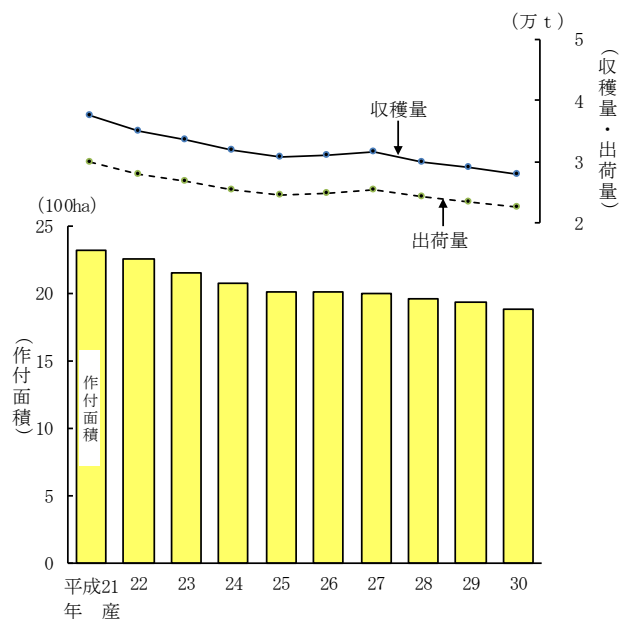


表24 平成30年産しゅんぎくの作付面積、収穫量及び出荷量（全国）

品 目	作付面積	10a当たり収	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比				(参考) 対平均 収量比
					作付面積	10a当たり収	収 穫 量	出 荷 量	
	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
しゅんぎく	1,880	1,490	28,000	22,600	97	99	97	96	97

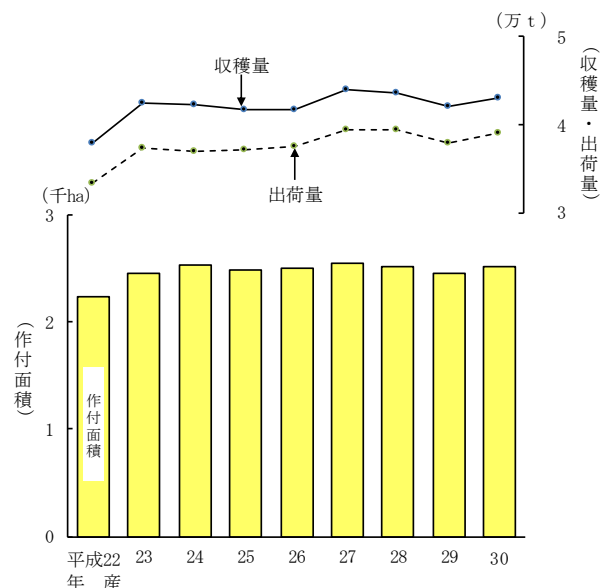
カ みずな

作付面積は2,510haで、前年産に比べ50ha（2％）増加した。

10a当たり収量は1,720kgで、前年産に比べ10kg（1％）上回った。

収穫量は4万3,100t、出荷量は3万9,000tで、前年産に比べそれぞれ1,000t（2％）、1,000t（3％）増加した。

図25 みずなの作付面積、収穫量及び出荷量の推移



注：平成22年産からみずなを調査品目に追加した。

表25 平成30年産みずなの作付面積、収穫量及び出荷量（全国）

品 目	作付面積	10a当たり収	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比				(参考) 対平均 収量比
					作付面積	10a当たり収	収 穫 量	出 荷 量	
	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
みずな	2,510	1,720	43,100	39,000	102	101	102	103	101

キ セルリー

作付面積は573haで、前年産に比べ7ha（1％）減少した。

10a当たり収量は5,430kgで、前年産に比べ120kg（2％）下回った。

収穫量は3万1,100t、出荷量は2万9,500tで、前年産に比べそれぞれ1,100t（3％）、1,100t（4％）減少した。

図26 セルリーの作付面積、収穫量及び出荷量の推移

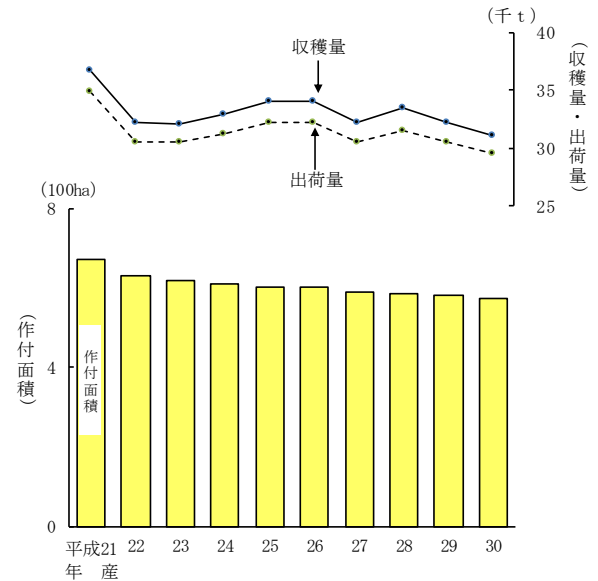


表26 平成30年産セルリーの作付面積、収穫量及び出荷量（全国）

品 目	作付面積	10a当たり収	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比				(参考) 対平均 収量比
					作付面積	10a当たり収	収 穫 量	出 荷 量	
	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
セルリー	573	5,430	31,100	29,500	99	98	97	96	98

ク アスパラガス

作付面積は5,170haで、前年産に比べ160ha（3％）減少した。

これは、生産者の高齢化により作付中止や他作物へ転換されたためである。

10a当たり収量は513kgで、前年産に比べ21kg（4％）上回った。

収穫量は2万6,500t、出荷量は2万3,200tで、前年産に比べそれぞれ300t（1％）、200t（1％）増加した。

図27 アスパラガスの作付面積、収穫量及び出荷量の推移

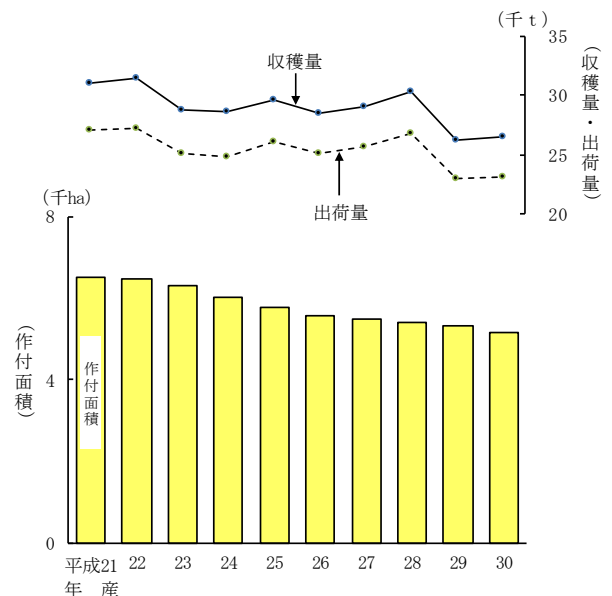


表27 平成30年産アスパラガスの作付面積、収穫量及び出荷量（全国）

品 目	作付面積	10a当たり収	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比				(参考) 対平均 収量比
					作付面積	10a当たり収	収 穫 量	出 荷 量	
	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
アスパラガス	5,170	513	26,500	23,200	97	104	101	101	102

ケ カリフラワー

作付面積は 1,200ha で、前年産に比べ 30ha (2%) 減少した。

10a 当たり収量は 1,640kg で、前年産に比べ 10kg (1%) 上回った。

収穫量は 1 万 9,700 t、出荷量は 1 万 6,600 t で、前年産に比べそれぞれ 400 t (2%) 減少した。

図28 カリフラワーの作付面積、収穫量及び出荷量の推移

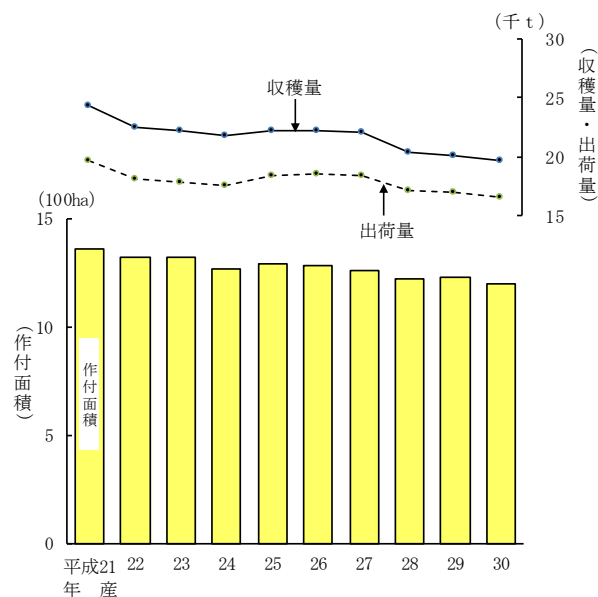


表28 平成30年産カリフラワーの作付面積、収穫量及び出荷量（全国）

品 目	作付面積	10 a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比				(参考) 対平均 収量比
					作付面積	10 a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	
	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
カリフラワー	1,200	1,640	19,700	16,600	98	101	98	98	96

コ ブロッコリー

作付面積は 1 万5,400haで、前年産に比べ 500ha (3%) 増加した。

これは、徳島県、香川県等において作付振興が行われたことや、近年、市場価格が安定していること等により、他作物から転換されたためである。

10a 当たり収量は999kgで、前年産に比べ 29kg (3%) 上回った。

収穫量は15万3,800 t、出荷量は13万 8,900 t で、前年産に比べそれぞれ9,200 t (6%)、8,700 t (7%) 増加した。

図29 ブロッコリーの作付面積、収穫量及び出荷量の推移

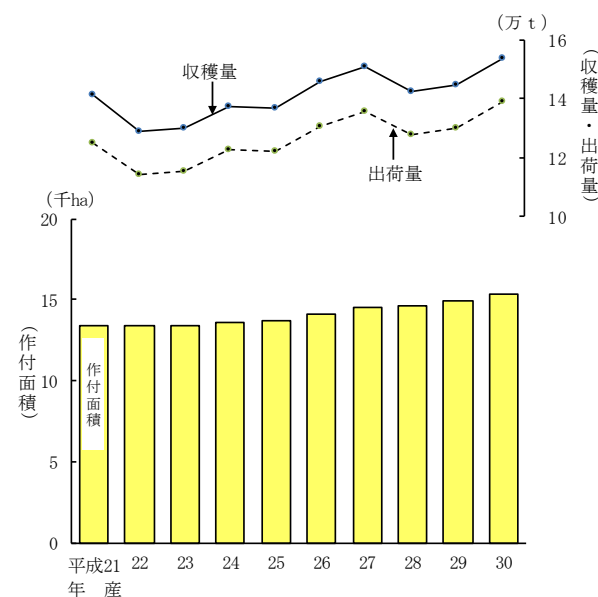


表29 平成30年産ブロッコリーの作付面積、収穫量及び出荷量（全国）

品 目	作付面積	10 a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比				(参考) 対平均 収量比
					作付面積	10 a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	
	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
ブロッコリー	15,400	999	153,800	138,900	103	103	106	107	100

サ にら

作付面積は2,020haで、前年産に比べ40ha（2％）減少した。

10a当たり収量は2,900kgで、前年産並みであった。

収穫量は5万8,500t、出荷量は5万2,900tで、前年産に比べそれぞれ1,100t（2％）、1,000t（2％）減少した。

図30 にらの作付面積、収穫量及び出荷量の推移

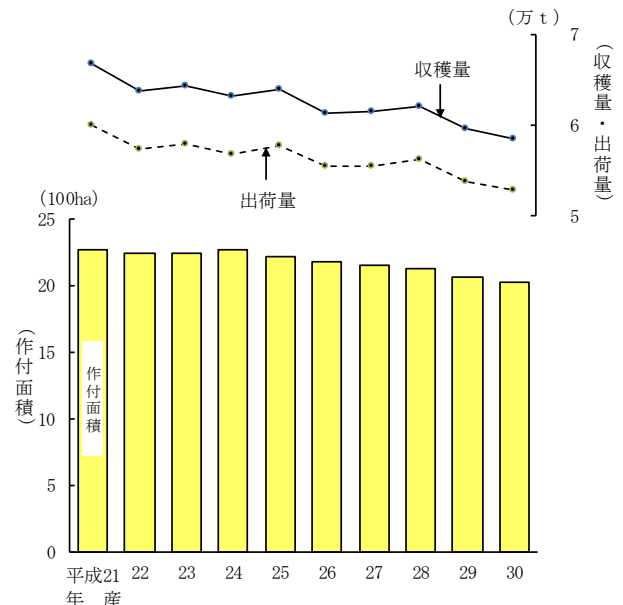


表30 平成30年産にらの作付面積、収穫量及び出荷量（全国）

品 目	作付面積	10a当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比				(参考) 対平均 収量比
					作付面積	10a当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	
	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
にら	2,020	2,900	58,500	52,900	98	100	98	98	101

シ にんにく

作付面積は2,470haで、前年産に比べ40ha（2％）増加した。

10a当たり収量は818kgで、前年産に比べ34kg（4％）下回った。

収穫量は2万200t、出荷量は1万4,400tで、前年産に比べそれぞれ500t（2％）、100t（1％）減少した。

図31 にんにくの作付面積、収穫量及び出荷量の推移

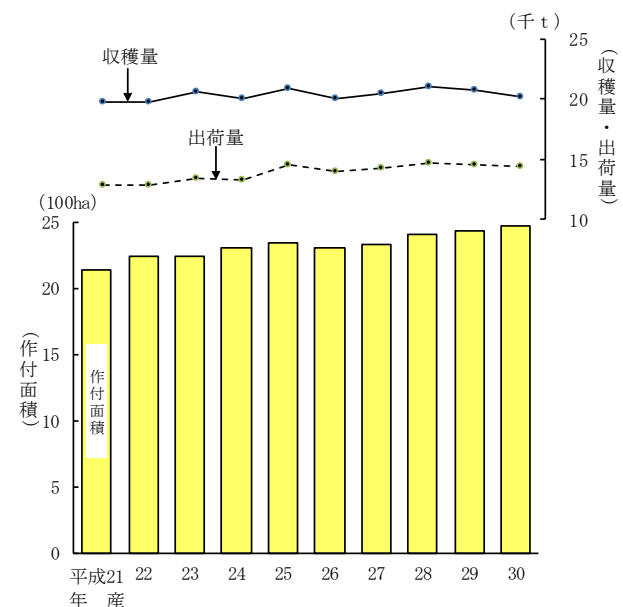


表31 平成30年産にんにくの作付面積、収穫量及び出荷量（全国）

品 目	作付面積	10a当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比				(参考) 対平均 収量比
					作付面積	10a当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	
	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
にんにく	2,470	818	20,200	14,400	102	96	98	99	93

(3) 果菜類

ア かぼちゃ

作付面積は1万5,200haで、前年産に比べ600ha（4％）減少した。

これは、生産者の高齢化による規模縮小や他作物へ転換されたためである。

10a当たり収量は1,050kgで、前年産に比べ220kg（17％）下回った。

これは、主に北海道において、6月中旬から7月上旬の低温・日照不足による着果不良や、7月下旬からの高温・少雨の影響により、小玉傾向となったこと等による。

収穫量は15万9,300t、出荷量は12万5,200tで、前年産に比べそれぞれ4万2,000t（21％）、3万5,800t（22％）減少した。

図32 かぼちゃの作付面積、収穫量及び出荷量の推移

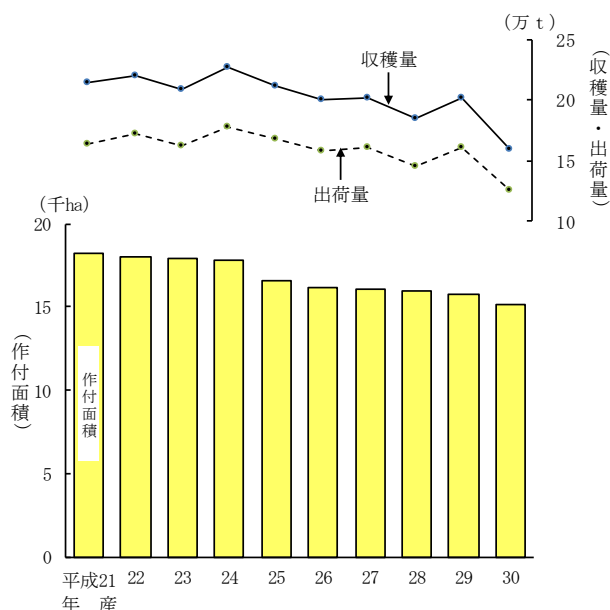


表32 平成30年産かぼちゃの作付面積、収穫量及び出荷量（全国）

品 目	作付面積	10a当たり収	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比				(参考) 対平均 収量比
					作付面積	10a当たり収	収 穫 量	出 荷 量	
	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
かぼちゃ	15,200	1,050	159,300	125,200	96	83	79	78	85

イ スイートコーン

作付面積は2万3,100haで、前年産に比べ400ha（2％）増加した。

10a当たり収量は942kgで、前年産に比べ78kg（8％）下回った。

これは、主に北海道において、6月中旬から7月上旬の低温・日照不足により生育が抑制されたことに加え、9月上旬の台風により倒伏が発生し、登熟が抑制されたこと等による。

収穫量は21万7,600t、出荷量は17万4,400tで、前年産に比べそれぞれ1万4,100t（6％）、1万1,900t（6％）減少した。

図33 スイートコーンの作付面積、収穫量及び出荷量の推移

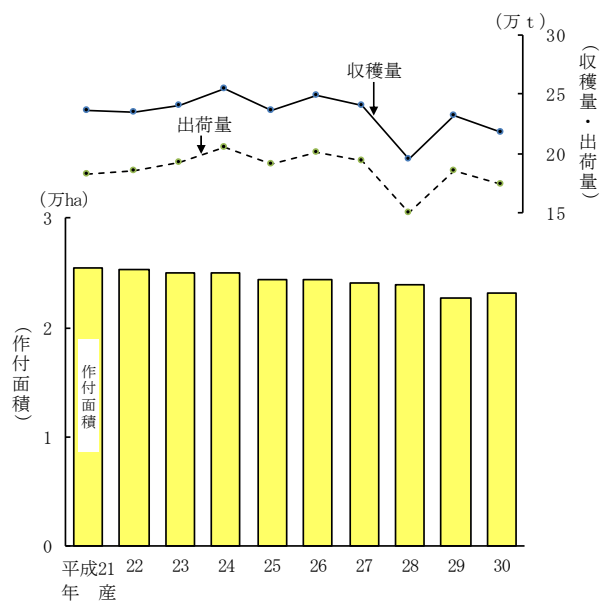


表33 平成30年産スイートコーンの作付面積、収穫量及び出荷量（全国）

品 目	作付面積	10a当たり収	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比				(参考) 対平均 収量比
					作付面積	10a当たり収	収 穫 量	出 荷 量	
	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
スイートコーン	23,100	942	217,600	174,400	102	92	94	94	95

ウ さやいんげん

作付面積は5,330haで、前年産に比べ260ha（5％）減少した。

これは、生産者の高齢化により作付中止や規模縮小があったためである。

10a 当たり収量は702kgで、前年産に比べ10kg（1％）下回った。

収穫量は3万7,400t、出荷量は2万4,900tで、前年産に比べそれぞれ2,400t（6％）、1,500t（6％）減少した。

図34 さやいんげんの作付面積、収穫量及び出荷量の推移

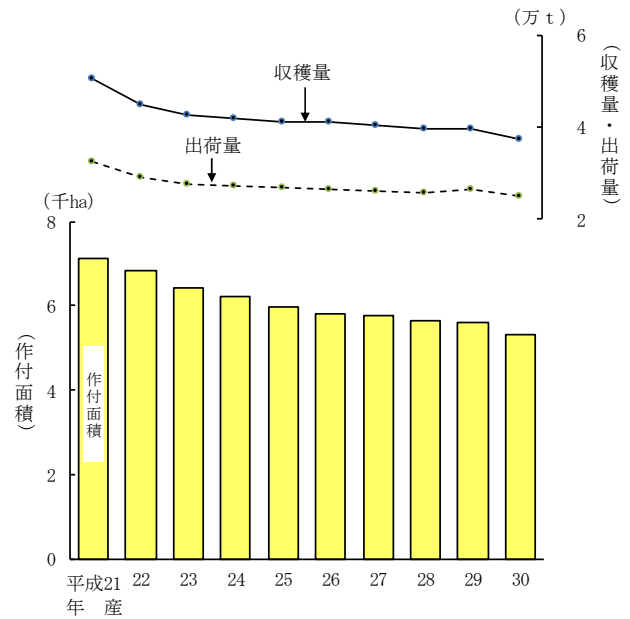


表34 平成30年産さやいんげんの作付面積、収穫量及び出荷量（全国）

品 目	作付面積	10 a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比				(参考) 対平均 収量比
					作付面積	10 a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	
さやいんげん	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
	5,330	702	37,400	24,900	95	99	94	94	101

エ さやえんどう

作付面積は2,910haで、前年産に比べ140ha（5％）減少した。

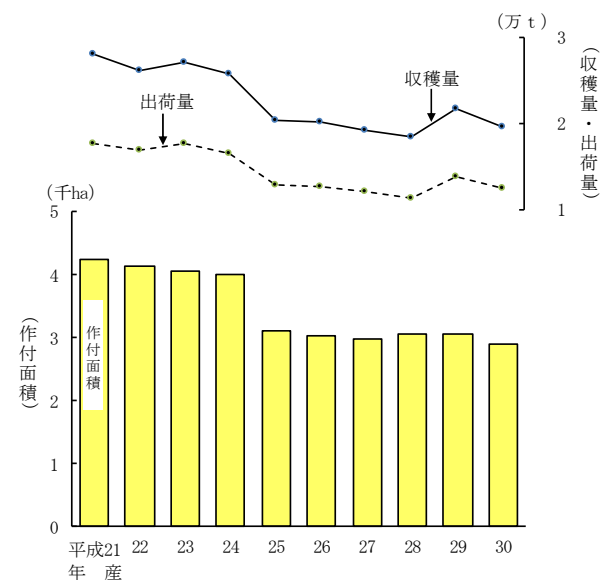
これは、生産者の高齢化により作付中止や規模縮小等があったためである。

10a 当たり収量は674kgで、前年産に比べ37kg（5％）下回った。

これは、鹿児島県等において、低温等の影響により生育が抑制され、作柄の良かった前年産を下回ったためである。

収穫量は1万9,600t、出荷量は1万2,500tで、前年産に比べそれぞれ2,100t（10％）、1,300t（9％）減少した。

図35 さやえんどうの作付面積、収穫量及び出荷量の推移



注：平成24年産までさやえんどうに含めていたグリーンピースを平成25年産からさやえんどうと区分した。

表35 平成30年産さやえんどうの作付面積、収穫量及び出荷量（全国）

品 目	作付面積	10 a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比				(参考) 対平均 収量比
					作付面積	10 a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	
さやえんどう	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
	2,910	674	19,600	12,500	95	95	90	91	103

オ グリーンピース

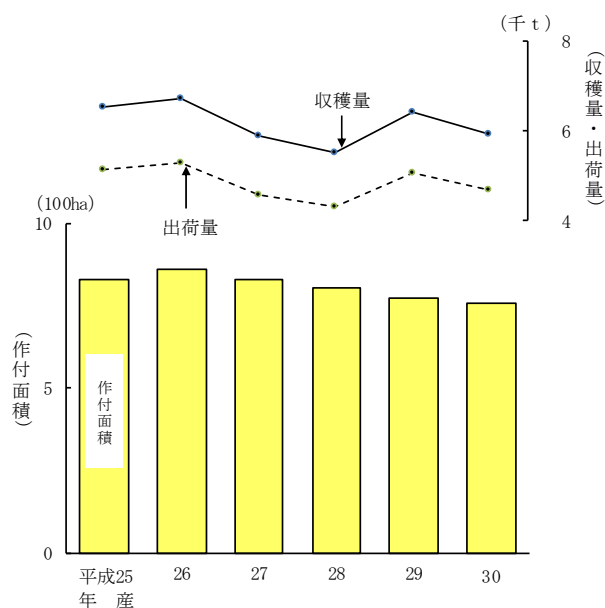
作付面積は760haで、前年産に比べ12ha（2％）減少した。

10 a 当たり収量は782kgで、前年産に比べ48kg（6％）下回った。

これは、主に和歌山県等において、台風の影響により倒伏や茎葉の損傷が発生し、作柄の良かった前年産を下回ったためである。

収穫量は 5,940 t、出荷量は 4,680 t で、前年産に比べそれぞれ 470 t（7％）、380 t（8％）減少した。

図36 グリーンピースの作付面積、収穫量及び出荷量の推移



注：平成24年産までさやえんどうに含めていたグリーンピースを平成25年産からさやえんどうと区分した。

表36 平成30年産グリーンピースの作付面積、収穫量及び出荷量（全国）

品 目	作付面積	10 a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比				(参考) 対平均 収量比
					作付面積	10 a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	
	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
グリーンピース	760	782	5,940	4,680	98	94	93	92	103

カ そらまめ

作付面積は1,810haで、前年産に比べ90ha（5％）減少した。

これは、他野菜への転換等により減少したためである。

10 a 当たり収量は801kgで、前年産に比べ15kg（2％）下回った。

収穫量は 1万4,500 t、出荷量は 1万100 t で、前年産に比べそれぞれ1,000 t（6％）、600 t（6％）減少した。

図37 そらまめの作付面積、収穫量及び出荷量の推移

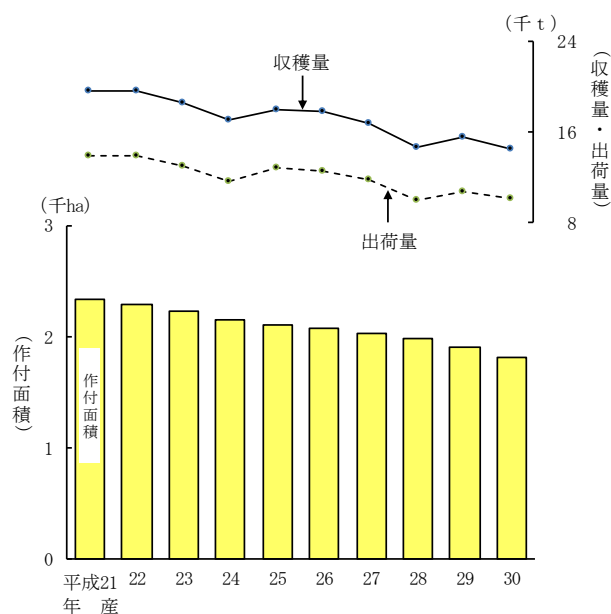


表37 平成30年産そらまめの作付面積、収穫量及び出荷量（全国）

品 目	作付面積	10 a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比				(参考) 対平均 収量比
					作付面積	10 a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	
	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
そらまめ	1,810	801	14,500	10,100	95	98	94	94	97

キ えだまめ

作付面積は1万2,800haで、前年産に比べ100ha（1％）減少した。

10a当たり収量は498kgで、前年産に比べ27kg（5％）下回った。

これは、秋田県、兵庫県等において、7月中旬から8月中旬にかけての高温・少雨により、着さや数が減少したこと等による。

収穫量は6万3,800t、出荷量は4万8,700tで、前年産に比べそれぞれ3,900t（6％）、3,100t（6％）減少した。

図38 えだまめの作付面積、収穫量及び出荷量の推移

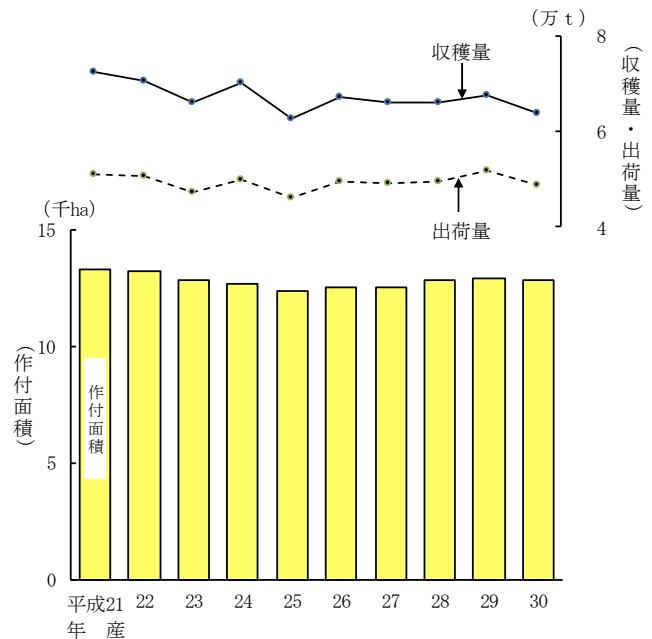


表38 平成30年産えだまめの作付面積、収穫量及び出荷量（全国）

品 目	作付面積	10 a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比				(参考) 対平均 収量比
					作付面積	10 a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	
えだまめ	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
	12,800	498	63,800	48,700	99	95	94	94	95

(4) 香辛野菜

しょうが

作付面積は1,750haで、前年産に比べ30ha（2％）減少した。

10a当たり収量は2,660kgで、前年産に比べ50kg（2％）下回った。

収穫量は4万6,600t、出荷量は3万6,400tで、前年産に比べそれぞれ1,700t（4％）減少した。

図39 しょうがの作付面積、収穫量及び出荷量の推移

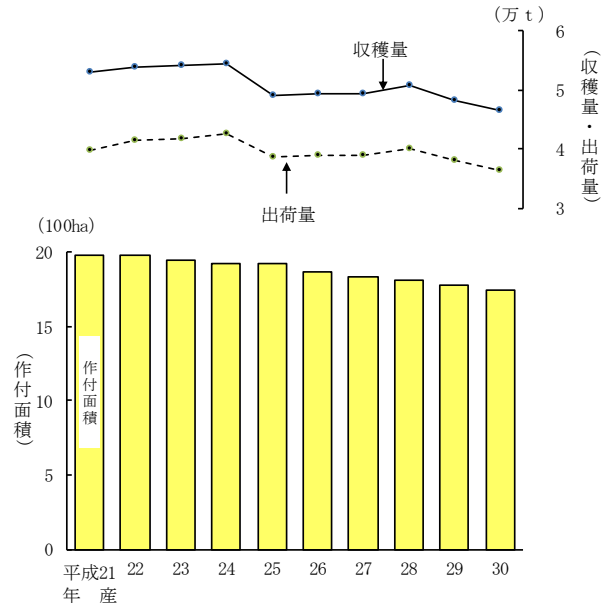


表39 平成30年産しょうがの作付面積、収穫量及び出荷量（全国）

品 目	作付面積	10 a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比				(参考) 対平均 収量比
					作付面積	10 a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	
しょうが	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
	1,750	2,660	46,600	36,400	98	98	96	96	97

(5) 果実的野菜

ア いちご

作付面積は5,200haで、前年産に比べ80ha（2％）減少した。

10a 当たり収量は3,110kgで、前年産並みであった。

収穫量は16万1,800 t、出荷量は14万8,600 tで、前年産に比べそれぞれ1,900 t（1％）、1,600 t（1％）減少した。

図40 いちごの作付面積、収穫量及び出荷量の推移

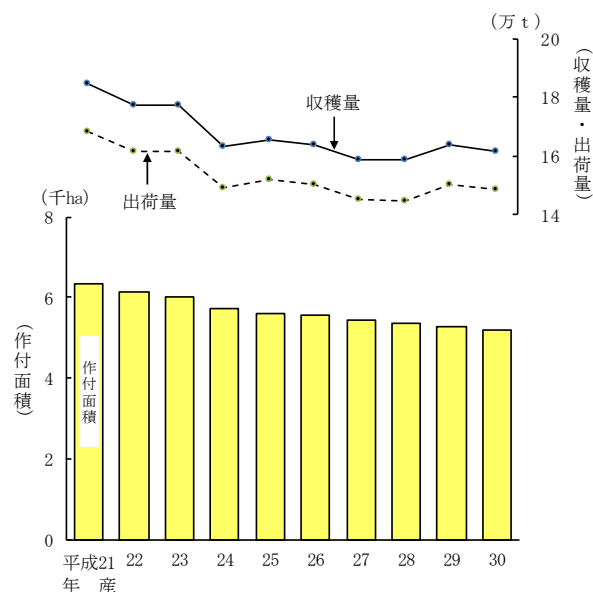


表40 平成30年産いちごの作付面積、収穫量及び出荷量（全国）

品 目	作付面積	10 a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比				(参考) 対平均 収量比
					作付面積	10 a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	
	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
いちご	5,200	3,110	161,800	148,600	98	100	99	99	106

イ メロン

作付面積は6,630haで、前年産に比べ140ha（2％）減少した。

10a 当たり収量は2,310kgで、前年産に比べ20kg（1％）上回った。

収穫量は15万2,900 t、出荷量は13万8,700 tで、前年産に比べそれぞれ2,100 t（1％）、2,000 t（1％）減少した。

図41 メロンの作付面積、収穫量及び出荷量の推移

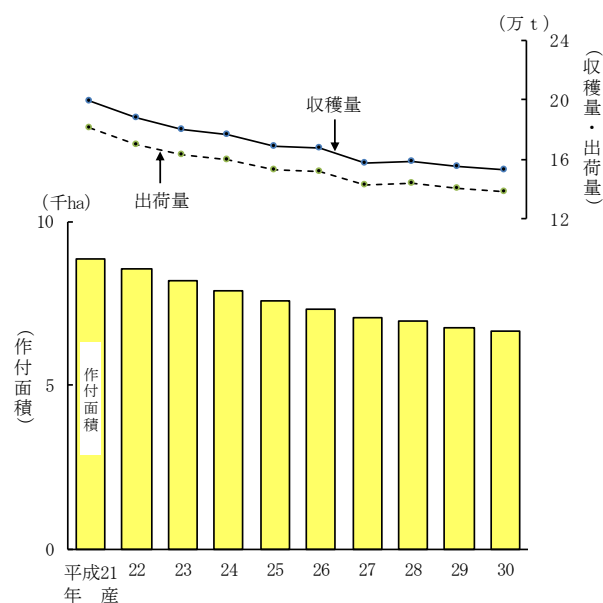


表41 平成30年産メロンの作付面積、収穫量及び出荷量（全国）

品 目	作付面積	10 a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比				(参考) 対平均 収量比
					作付面積	10 a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	
	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
メロン	6,630	2,310	152,900	138,700	98	101	99	99	103

ウ すいか

作付面積は9,970haで、前年産に比べ230ha（2％）減少した。

10 a 当たり収量は3,220kgで、前年産に比べ30kg（1％）下回った。

収穫量は32万600 t、出荷量は27万6,500 t で、前年産に比べそれぞれ1 万500t （3％）、7,900 t （3％）減少した。

図42 すいかの作付面積、収穫量及び出荷量の推移

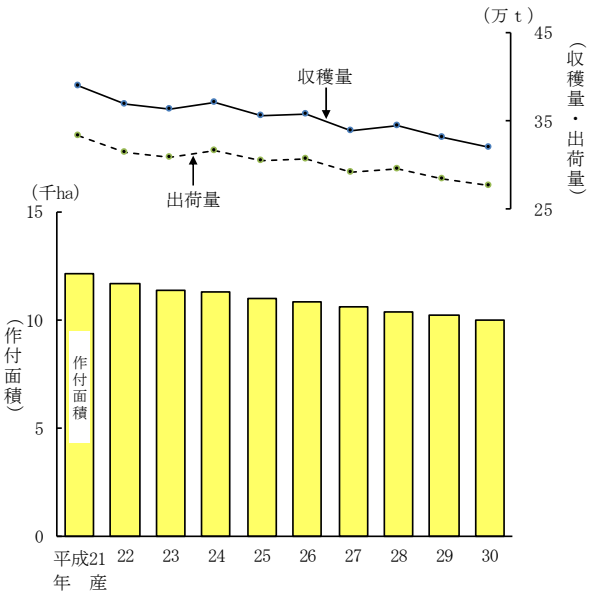


表42 平成30年産すいかの作付面積、収穫量及び出荷量（全国）

品 目	作 付 面 積	10 a 当 たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比				(参考) 対平均 収量比
					作 付 面 積	10 a 当 たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	
すいか	ha 9,970	kg 3,220	t 320,600	t 276,500	% 98	% 99	% 97	% 97	% 99